おうみはちまん 議会だより

2021（令和3年）
第46号
2月1日発行

編集：広報広聴委員会　発行：近江八幡市議会（年4回発行）　〒523-8501　滋賀県近江八幡市桜宮町236番地　TEL 0748（36）5528　FAX 0748（36）7101
ホームページアドレスhttp://www.city.omihachiman.lg.jp/gyosei/shigikai/ Eメール020200@city.omihachiman.lg.jp

【老蘇コミュニティセンターのイルミネーション】

二次元バーコード（個人質問ページ）で本会議での質問の様子をご覧いただけます

今号の主な内容

●定例会の概要および個人質問 …… 2～11
●各委員会審査報告 …… 12～13
●各委員会活動報告ほか …… 14
●議会報告会開催案内 …… 15
●提出議案と審議結果一覧 …… 15～16

12月定例会の概要

令和2年第4回（12月）市議会定例会を11月26日から12月18日までの23日間の会期で開きました。

11月26日の本会議の開会前、議場において、去る10月24日にご逝去されました田中好議員に対して、議長から哀悼の言葉を述べ、全員で黙祷を行いました。

その後、本会議が開会され、9月定例会で継続審査となっていました「平成31（令和元）年度近江八幡市一般会計決算の認定を求める議案」について、決算特別委員会の審査報告があり、討論、採決の結果、原案を認定しました。続いて、議長報告、監査委員報告の後、市長提出議案として「令和2年度近江八幡市一般会計補正予算（第8号）」をはじめとする27件の議案および議員提出議案の意見書1件が上程されました。上程された議案のうち、予算関連議案1件が予算常任委員会に、条例関連議案4件が総務常任委員会に、意見書1件が産業建設常任委員会に付託され、本会議再開後、委員会からの審査報告、討論、採決と続き、いずれも原案を可決しました。

その後、議案熟読の期間を経て再開された12月7日には、追加議案として請願3件が上程されました。7日、8日、9日に19名の議員が個人質問を行い、議案質疑や市政全般に対する質問を行いました。上程された議案および意見書は、予算・総務・教育厚生・産業建設の各常任委員会に付託され、後日開催した各常任委員会で当局等から議案に対する説明を求め、審査を行いました。

18日の閉会日には、各常任委員会の審査報告の後、討論、採決を行い、市長から提出された議案は、全ての議案を可決しました。なお、請願3件については、討論、採決の結果、1件を採択、2件を不採択としました。

引き続き、本会議で市長提出議案として、一般会計補正予算の予算関連議案1件、その他議案1件、財産区管理委員に係る人事案件2件、議員提出議案として2件が追加上程され、予算関連議案1件が予算常任委員会に、その他議案1件が産業建設常任委員会に付託されました。

委員会開催後、再開された本会議で各常任委員会の審査報告があり、採決の結果、この日に上程された追加議案は全て可決・同意しました。

個人質問

創政会　大川恒彦

第7期介護保険サービス事業所の募集について

問　当市は令和7年に団塊の世代が75歳を迎えることを踏まえ、計画的に介護保険サービス基盤の整備を推進しており、事業者の公募をしました。

これに伴い姫路市に本部がある法人が、十王町地先を予定地とすることで候補者の選定を受けましたが、そうした中において農業を推進する必要があると定めた規制区域の農振農用地に、また、日野川の改修は進みましたが近年の異常気象等を考えれば洪水等の危険のリスクがあるこの場所にしたのはなぜなのですか。

答　副市長

当該法人は、社会福祉法人として高齢者をはじめとする地域住民との交流を図り、地域における公益的な取組ができ、交通の利便性や医療機関との連携など総合的に判断され、最終的に開設に最適な土地として、この予定地を選ばれました。

また、法人からの開設計画書には、100年に1度の確率の降雨による最大浸水想定にも対応できるように、土地のかさ上げによる対応をすること、また危機管理の観点から災害時の対策も計画されております。

［その他の質疑・質問］
①防災、危機安全管理対策の現状について
②コロナ禍での学校学習と子どもの様子について

個人質問

創政会

日野川、白鳥川の河川整備状況について

南　祐輔

問　①日野川の堤外民地の雑木、竹やぶの伐採については、「流れが阻害されているならば対応するというのが県の考えで、市としても現場の確認をした上で県に要望したい。」との回答が前定例会でありました。その後の経過はどうなったのですか。

②日野川の竹やぶにはイノシシが住みつき堤防を掘り返すなど水防上の危険が存在しますが、どう対処されていますか。

③白鳥川の雑木の伐採の頻度はどれくらいですか。また現状の程度なら水防上危険ではないとの認識なのですか。

答　**都市整備部長**

①今後用地買収が完了した後に整備される見込みです。早期に事業が実施されますよう、国・県に対して要望してまいります。

②地元要望を頂き、県・市で現場確認もさせていただいております。掘り返しと降水による洗掘が進む前に、適宜整地対応いただいております。

③通水上支障となる河川内樹木を、下流側から順次伐採いただいており、今年度は小船木町地先からＪＲ橋梁までの間を予定していると伺っております。

本市としましても、河川の通水を阻害するものについては危惧しているところであり、浚渫につきましても要望してまいります。

【白鳥川（馬淵町付近から下流を撮影）】

［その他の質疑・質問］
①新市庁舎建設に伴う周辺の歩行空間の整備について
②市内の雑草の草刈りについて

個人質問

政翔会

土地改良事業におけるガイドラインについて

辻　正隆

問　団体営事業における負担割合のガイドラインが昨年制度化され、市町村負担においても地方財政措置が受けられる制度が団体営事業にも拡充され、軽減される状況になりました。

当市にございます土地改良施設、道路、排水路、承水溝等は周辺の開発に伴いたいへん公共性の高い施設となっています。団体営事業、また、県営事業についても国が定めるガイドラインに基づく市負担をするべきと考えますが当局のお考えをお聞きします。

答　**産業経済部長**

令和３年度より団体営事業の市の負担割合を13％を上限としてガイドラインどおり設定し、農業者の負担軽減を図ってまいりたいと考えております。

また、県営事業につきましては、原則５％の負担とし、農業外効果が認められる公共性が高い事業についてはガイドライン内の負担率で協議し、決定してまいりたいと考えております。

【土地改良施設の例（揚水機場）】

［その他の質疑・質問］
①近江八幡市の汚水処理状況について
②収入保険制度加入推進について
③誘客型農業果樹産地構想について

個人質問

志誠会

安土コミュニティエリアを含んだ小学校整備について

西津善樹

問 安土小学校整備地選定委員会で方向づけられた安土小学校の移転建て替えは今後どのように進められるのかお伺いします。

また、市長にも小学校については大人目線でなく、もっと子ども目線で考えるべきではないのか誰のための学舎なのかを原点に立ち返って考えていただきたい。さらに、安土小学校については、他学区と同様に防災拠点機能を持たせると共に地域住民との多世代交流を深めるための一体型コミュニティエリア整備を検討していただかなければなりません。市長のお考えをお示しください。

答 教育長、市長

安土小学校の整備につきましては、安土小学校整備地選定委員会の選定結果を受け、できるだけ早期に市としての方向性を決定し、事業着手してまいりたいと考えております。

各学区において、コミュニティセンター一体型を基本として整備を進めてきましたが、安土学区につきましては、様々な意見が様々な方から出されており、子ども達のことを第一に考え、小学校整備を最初に進めています。

コミュニティセンター等については、学区民の方々のご理解も必要と思いますので、それらを踏まえながら、これから判断してまいりたいと考えております。

【安土小学校】

［その他の質疑・質問］
①市役所新庁舎建設について
②治水対策について
③安土八幡連絡道路について
④スポーツ推進条例および手話言語条例について
⑤広報・広聴のあり方について
⑥交通弱者に対する支援について
⑦オープンガバナンスについて

個人質問

新政会

市内道路の整備状況と今後の予定について

平井俊治

問 桐原学区から北里学区に至る国道４７７号、八幡西中学校前より八木町信号までの農道、自治会要望の県道や市道の整備についての整備状況と今後の予定をお尋ねします。

国道４７７号については、地元の県議と市議とともに東近江土木事務所に出向き整備が必要な場所の点検を要望していますので市当局の再度の働きかけをよろしくお願いします。八幡西中学校前の農道は、生徒の通学路でもあり安全に十分注意し工事をするよう市当局よりお願いしたい。自治会要望の県道や市道の整備については、状況を見ながら確実に実施していただきたい。

答 都市整備部長、産業経済部長

県管理の国道・県道につきましては、事業の重点化を進め、より効果的に進めていくために『滋賀県道路整備アクションプログラム』を策定され、計画的に整備を進められています。市としましても緊急的な道路補修などは適宜、現場確認のうえ、迅速な対応を求めていきます。

また、自治会要望の市道等の状況と今後の予定につきましては、緊急性、投資効果等を勘案し計画的に進めていきます。八幡西中学校前の農道整備事業につきましては、今年度、農水管の移設や道路拡幅部の盛土工、擁壁（ようへき）工を実施しております。来年度以降、道路側溝、ガードパイプ、舗装等の施工を予定しております。今後も安全に配慮した工事の施工に努めます。

［その他の質疑・質問］
①オープンガバナンス推進事業について

個人質問

チームはちまん

電柱の無柱化について

竹尾耕児

問 本定例会の補正予算で観光地域振興無電柱化推進事業が計上されました。かねてより要望させていただいていた事業が予算化されたことにたいへん安堵しております。電柱の無柱化については景観の向上や交通安全面への寄与など大きな効果が期待できます。

特に近隣住民さんとの合意が大事だと思いますが、無電柱化の事業についてスケジュールや方法、近隣住民さんへの説明など今後の事業計画について教えていただきたく思います。

答 **総合政策部長**

順調にいけば、令和3年前半に詳細設計、その後、同事業による本体工事費の要望を経て、令和3年の年末から令和5年3月にかけて電線類の地中化、電柱の抜柱などの工事を、電線管理者が行う予定です。

当該区間に接する住民の方々へは、事業を進めていく予定であることの説明を令和2年11月中旬に口頭、または文書にて行いました。

今後、事業の進捗に応じて、地元自治会や関係団体等も含めて住民の方々へ、随時説明を行っていく予定です。

【新町浜付近の現状】

［その他の質疑・質問］
①安土小学校建て替えについて

個人質問

創政会

0次予防センターの今後の運営について

岡山かよ子

問 0次予防センターは、高齢になっても自分の地域で自分らしく生きるための取組を推進する拠点です。

まちの保健室として、人材養成、また、健康情報の提供や、体力チェック、もの忘れチェック、筋力体操の体験や健康等相談事業など実施されていますが、開設2年が経過し、現在の0次予防センターの役割と事業の進捗状況、利用状況等を教えてください。

また、健康未来食品の開発等を行い、民間への事業展開を図るとのことでしたが、その方向性について伺います。

答 **子ども健康部長**

0次予防センターでは、市民が健康で生涯活躍できる安寧のまちの形成に向け、病気に罹患（りかん）または障がいを有していても、地域で生きがいを持ち自分らしく生きるための基盤づくりを推進しています。2年が経過しKPI（重要業績評価指標）の達成には至っておりませんが、養成した健康サポーターが地域で活躍することで生涯活躍に繋がっています。開設以降、体力測定・運動体験に延べ854人、健康未来食に延べ2，768人の利用がありました。健康未来食品では、産官学金労医による専門部会を立上げ、民間連携のもと健康未来食品販売事業の拡大を目指します。

【0次予防センター（友定町地先）】

［その他の質疑・質問］
①安土地域拠点等の整備について
②常浜水辺公園整備事業について

個人質問

新政会

結婚新生活支援事業について

道下直樹

問 国が少子化対策の一環で結婚新生活支援事業を制度化しておりますが、このたび年齢制限を34歳以下から39歳以下に、また、世帯年収制限を４８０万円未満から５４０万円未満まで緩和し、最大60万円まで支援するとのことです。

残念ながら近江八幡市は導入していません。近江八幡市においても我々の世代に対しての結婚新生活支援事業を導入検討していただけませんでしょうか。本市の導入検討についてお伺いいたします。

答 **総合政策部長**

当該補助事業の県内における事業実施市町は、彦根市・草津市・湖南市・高島市・東近江市・豊郷町の５市１町であり、県内の実績を見ると、該当件数は少なく、現時点で効果は限定的と考えております。

また、補助額の２分の１もしくは３分の１に市の一般財源が必要となることから、導入につきましては、今後も当補助事業の状況を注視しつつ、あわせまして少子高齢化、人口減少に対するより効果的な事業について検討してまいりたいと考えております。

［その他の質疑・質問］
①庁舎内のＩＣＴ化について
②渋滞緩和策について
③観光行政について
④学校について
⑤若年妊娠および性教育について

個人質問

公政会

財源不足による庁舎建設は延期すべきではないか

冨士谷英正

問 市庁舎建設の目的は、震度６で崩壊のおそれがあるという調査結果からであります。今年度は現本庁舎、来年度は安土町総合支所の耐震工事が完了予定となっております。したがって、来庁者および職員の安全は確保できます。今や全国各地で、市役所をはじめ公共施設整備は延期または中止が続出しております。一方、合併推進債の期限は令和７年３月末までに実施設計が契約されておれば有効であります。その間に、コロナ感染が収束し、経済も良好となるまで、市庁舎建設は延期すべしと思うが。

答 **市長、総合政策部理事**

現本庁舎の耐震は、新庁舎の供用を開始するまでの安全性確保および行政機能の維持という観点から実施するものです。市庁舎整備基本計画で示していますとおり、現本庁舎の長寿命化や長期活用ではワンストップサービスや防災拠点としての整備、ＩＣＴ化への対応等が困難であり、これら現状の課題を解決するためにもシンプルでコストに配慮した新庁舎整備は重要な施策です。

現本庁舎の耐震補強工事の完了によって新庁舎整備が不要になるものではないことから、予定どおり令和５年度中に竣工できるよう進める判断に変わりなく、建設の延期は考えておりません。

［その他の質疑・質問］
①新型コロナウイルス感染症対策が財政に与える影響について
②新型コロナウイルス対策緊急雇用について
③健康ふれあい公園サッカー場整備工事請負契約の変更について
④近江鉄道の存続形態と財政負担について
⑤安土小学校の建設問題について

個人質問

日本共産党

安土小学校整備地選定について

玉木弘子

問　第４回安土小学校整備地選定委員会で出された意見の内「①移転地整備は、軟弱地盤・湿地であるため安全確保について専門家の意見を聞いてほしい②浸水対策は学校だけでなく通学路の安全対策も③敷地面積は、コミセン一体ではなく小学校のみの敷地面積に間違いはないか」について、また「住民が平等に知り、意見を言う場がない」「小学校整備について、住民説明会は開かれていないし、意見集約もない」などの声がありますが、住民合意と言えるのか見解をお伺いします。

答　教育長

①地質調査も含め比較検討資料の作成を委託した専門業者から盛土や地盤改良により学校建設は可能との見解をいただいております。

②浸水対策も含めた通学路の安全対策についてもできる限りの対策を講じてまいります。

③今回は学校の整備地の選定であり、移転候補地の面積は駐車場も含めた学校としての必要面積としています。

小学校や幼稚園のＰＴＡ代表、自治会やまちづくり協議会の代表等、委員８名で組織する安土小学校整備地選定委員会での議論をはじめ、各団体主催の説明会での資料説明・質疑応答の他、ホームページでの資料や議事録の公開等、広く情報提供してきたことから、今回の選定委員会の結果を一定の住民合意として捉えています。

［その他の質疑・質問］
①放課後児童支援員等処遇改善事業について
②新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少したことによる国民健康保険料の減免について
③学校給食費の公会計化について
④安土学区の課題について

個人質問

凛成会

コロナによる様々な影響への対応について

山元聡子

問　新型コロナ感染症が、三たび、全国各地で広がりつつあります。昨今の新聞報道では、様々な問題が生じ、なかでも、高齢者や子育て世代への影響が顕著だと言われています。

このような中で、高齢者については、コロナによりやむなく引き籠っておられる、特に一人暮らしの高齢者において、フレイル（加齢による心身の虚弱）化をはじめ、なかには、認知症が重症化するなど、健康二次被害が生じているように聞いています。市では、この実態をどのように把握されていますか、お伺いをします。

答　福祉保険部長

「いきいき百歳体操」や「ふれあいサロン」など、通いの場の休止や感染予防のため外出を控えたことで、心身の機能の低下をきたしている高齢者がいることを認識しており、現在「いきいき百歳体操」の各会場を計画的に訪問する中で、機能低下をきたしている高齢者の把握に努めています。

本市では、フレイル予防や認知症対策としては、身近な地域の中で、人との交流ができる多様な通いの場の整備が必要と考えており、高齢者の通いの場の創出および内容の充実を図りたいと考えております。

［その他の質疑・質問］
①ＳＤＧｓに基づいた地域資源循環型社会の構築と環境教育のより一層の充実について
②オープンガバナンスを進めるための対応について

個人質問

政翔会

市行政職で管理職に占める女性の割合について

小川広司

問 ①管理職（課長相当職以上）に占める女性の割合、および、そのうち理事・部長職での割合はどのようになっていますか。

②男女共同参画を推進されている市の立場から考えると、現状をどのように認識されていますか。

③課題や今後の対策について聞きます。

答 副市長

①令和2年4月1日現在で行政部門の課長級以上の女性職員の割合は70名中13名で18・6％ですが、部長級では全員が男性職員となっています。

②女性職員の能力の活用と意思決定の場への参画機会を増やすことが大切であり、部長級をはじめ管理職への登用も必要であると認識しています。

③女性職員が出産・育児・介護等の状況下でも家庭と仕事の両立ができるよう女性の職業生活の活躍を推進する取組を進め、管理職層の離職防止を図るため、多様な経験を積むことができる人事配置や職務分担に引き続き努めてまいります。

［その他の質疑・質問］
①本市の人・農地プランの実質化について

個人質問

公明党

家庭における防災・減災対策について

岩崎和也

問 大災害が起きた場合は初動の対応が生死を分けるといっても過言ではありません。

自助・共助・公助の三助が重要だと言われていますが、大災害の場合は職員も被災者になり、避難所の開設や住民の救助に時間がかかる可能性がでてきます。

このことから、私達は普段から「自助と共助」の意識を高めていくことが大切になってきます。各家庭において、防災・減災対策として準備をしておかなければならないことは何でしょうか。

答 市民部長

大規模災害が発生すると公助の機能が著しく制限され、日頃からの自助と共助の取組が、被害軽減に繋がると考えています。

防災・減災対策の準備については、災害発生時に自発的な自助行動を起こすために、必要な日頃の備えとして、「家の中の安全点検を行う」、「家族内での連絡手段を確認する」、「備蓄品を確認・準備する」、「避難時の危険個所を確認する」等を『避難誘導マニュアル指針』に示しており、身近な防災力を高めるため、日頃から家族等で、防災・減災について話し合っていただくことが重要であると考えています。

［その他の質疑・質問］
①令和2年度市政運営基本方針について
②コロナ禍における誹謗中傷対策について
③市庁舎建設と周辺の一体整備について

個人質問

創政会

障害者週間と情報コミュニケーション条例について

小西　励

問　令和2年12月3日から9日までの1週間を障害者週間と位置づけ、障がい者の方々の福祉について、国民の間に広く関心と理解を深める取組を行っていただいています。近江八幡市では、どのような意識啓発を行っていただいていますか、お教え願います。

　また、情報コミュニケーションに関する条例案について12月議会定例会の会派別説明会後に追加説明をいただきましたが、条例の制定に向けて、各団体などの意見聴取や条例提案時期など、どのように進んでいるのか、お教え願います。

答　**市長**

　毎年、広報おうみはちまん12月号に障害者週間の特集記事を掲載しており、今年度は市内の障がい福祉団体5団体の活動紹介や市民に向けたメッセージを掲載しました。今後も、障がい者理解に向けた啓発等に取り組みます。

　情報コミュニケーション条例については、条例素案により令和2年8月下旬から10月上旬にかけ障がい福祉団体5団体と意見交換を開催のうえ条例原案を作成し、11月20日から12月17日までの間パブリックコメントを実施しています。今後については、最終条例案を作成し、3月議会に上程させていただき審議いただく予定です。

［その他の質疑・質問］
①保育所等保育実施基準について
②教育行政について

個人質問

日本共産党

都市公園の管理及び運営に関する条例について

檜山秋彦

問　『スポーツ施設の使用料見直しについて』という当局の文書では、スポーツ施設の利用者には受益者負担を求めなければならないとしていますが、もともと市民の税金で建てたものですから利用料をとらなくてもいいのではないですか。図書館では利用料をとっていません。

　土日料金を平日の1.5倍にするそうですが、労働者には酷ではありませんか。土日を平日と同じにしている市は県内12市中7市もあります。

　今回の改定で市民のスポーツ機会が増えると言えますか。

答　**教育部長**

　受益者負担については、本市の『受益者負担の基本的な考え方』に基づき、サービスに係る公費の一部負担を求めることにより公費支出の軽減を図り、使用される方と使用されない方のバランスも考慮しながら、より適切な財源配分を行うことを目的としています。

　多くの施設が老朽化し利用者からは目立たない部分の改修に多額の経費もかかっているため、利用者サービスに係る一部負担をお願いしています。

　土日休日を平日料金より1.5倍の設定をしている根拠については、民間も含め県内他市も参考に検討した結果、影響が大きくなると判断し従来どおりとし、次期改定に向け検討することにさせていただきました。

【安土マリエート（安土文芸の郷内）】

［その他の質疑・質問］
①小西市政2年8か月の総括と残された課題について
②市民広場構想について
③商工業振興ビジョンについて

個人質問

ひむれクラブ

ノラ猫問題について

山本英夫

問 ノラ猫は一定の地域に住み着く習性があり、糞尿やゴミ荒らし被害等多くの苦情があります。そうした中で、11月広報においては、県動物保護センターと不妊去勢手術の助成制度として地域猫対策事業の実施の紹介がされているだけです。問題が深刻になり、対応条例が各地で制定されているほどです。

多くの市民が困っておられる中、市の対応が見えないとの声もあります。市としてどのように考え、捉えられているのか、ご答弁ください。

答 市民部長

ノラ猫が家の敷地に入り込んで、糞尿や不快な鳴き声をされて困っているという苦情があります。その場合、猫が嫌う匂いを発する薬剤の説明や県の地域猫対策についての説明をさせていただいています。

今後は、より一層現地に足を運ばせていただき、顔が見える対応に努めてまいるとともに、他市町の状況を見ながら、有効な取組につきましても検討してまいります。

また、ノラ猫問題の解決のためには、飼い主の責任ある飼い方をしていただくことも重要であることから、その啓発活動も継続して行ってまいります。

［その他の質疑・質問］
①信号機の増減について
②無電柱化事業について
③八幡堀の美観・環境整備について
④八幡小学校の通学路について

個人質問

公明党

乳がんグローブについて

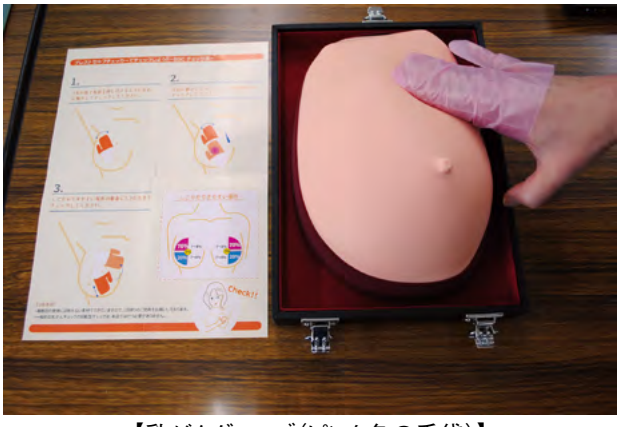
山本妙子

問 乳がん早期発見のための自己検診手袋＝通称乳がんグローブは、素手ではわかりにくい小さなしこりなどの異常を発見しやすくするものです。乳がん検診の対象となる40歳を迎えるまでの30歳や35歳といった節目を迎える女性や、もしくは乳がん検診の無料クーポンとあわせて、乳がんグローブを配布してはどうでしょうか。市の見解をお伺いいたします。

答 子ども健康部長

乳がんは、自分自身で発見できる唯一のがんであり、早期発見のためには、乳がん検診の定期的な受診だけではなく、自己触診が重要です。自己触診を実施するタイミングや正しい方法の理解のもと、自己触診の実践と乳房の観察を行っていただくことで、異常の早期発見につながると考えています。

したがいまして、乳がん自己検診用グローブの配布については、単に配布するのではなく、就学前施設などに出向き、正しい自己触診方法の啓発やがん検診受診啓発の受講と併せて配布し、今後より一層、健康意識が高まるよう、取り組んでまいりたいと考えております。



【乳がんグローブ（ピンク色の手袋）】

［その他の質疑・質問］
①液体ミルクについて
②ＩＣＴを活用した取組について
③里親制度について

個人質問

政翔会

今後の施策の実施について（令和3年度予算）

沖　茂樹

問　令和3年度の当初予算編成方針について、通常の施策とコロナ対策のそれぞれに関し、財源の減少が確実視される次年度の予算における市長の方針を確認させてください。

　また、市長の方針をどのように市民の皆さんに伝えるのか、そして、市長の思いを職員の皆さんとどのように共有しておられるかを聞かせてください。

答　市長

　予算編成方針について、コロナ対策は状況を踏まえながら必要なところに的確に対策を打っていきます。財源が減少する中ですが、予算はバランスが重要であり、著しく緊縮すると経済へも影響しますので、各種施策やインフラ投資の将来を見極めつつしっかり対応していきます。あわせて、ふるさと納税等の収入確保策に取り組んでまいります。市民の皆さまには、市民生活を支える実効性のある施策について、市広報・ホームページ等で丁寧な情報発信を行います。また、職員とは、機会を通じて施策に対する思いや意思の共通化を図ってまいりたいと考えています。

［その他の質疑・質問］
①自治会向け補助制度について

個人質問

日本共産党

障がい者の施設利用時のPCR検査等の助成について

森原陽子

問　全国的な新型コロナウイルス感染症の急増で、感染拡大を食い止めるため、面的・社会的検査の必要性が高まっています。

　障がい者が、家族の入院等でショートステイなどの施設利用をする場合、利用前にPCR検査等を求められることがあります。PCR検査であれば2万2,000円、さらに陰性証明書に3,000円程度が必要となり大きな負担です。このような検査に対し、市で助成することはできませんか。また、利用できる制度はありませんか。

答　福祉保険部長

　新型コロナウイルス感染症は、マスクの着用、手指等の消毒、三密（密閉・密集・密接）の回避などの基本的な対策を徹底することが重要です。

　短期入所等の利用に際し、PCR検査が求められているとのことですが、現在、県内において検査を受けないとサービス利用ができない事業所は確認されていません。しかしながら、県内にもPCR検査の義務付けを検討している事業所があることから情報把握に努め、検査の実施が事業所の運営上必要不可欠な場合は国の新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業の対象となることから、事業所に対し制度の周知を図ります。

［その他の質疑・質問］
①待機児童の解消と子育て支援について
②障がい児の放課後等デイサービスの充実について
③市職員の働き方について
④介護保険料について

決算特別委員会審査報告

委員長　北川　誠次

令和2年9月第3回定例会において、当委員会に付託された「議第100号平成31（令和元）年度近江八幡市一般会計決算の認定を求めることについて」の議案を継続審査するため、10月12日から14日までの3日間、委員会を開催し、当局の説明を求め、慎重に審査した結果、全員賛成で原案を認定すべきものと決しました。

審査の対象となった、平成31（令和元）年度は、当初予算を「ハートフルで市民が主役」を政策目的の主眼に事業を進めるとともに、平成30年度に策定した「第1次総合計画」に掲げられた6つの基本目標に沿い、子育て支援や観光文化の振興などを図り活力ある地域づくりを実現し「憧れを持ってもらえるまち近江八幡」を目指した『未来志向型予算』として取り組まれました年度でした。

審査過程の中で委員から出された主な意見としましては、老人クラブに対する活動助成に関し多くの委員より質問がありました。市は老人クラブ連合会に対して助成を行っていますが、高齢化の進展している中で高齢者の生きがいづくりや介護予防に寄与するためにも老人クラブの活動は重要であるものの、連合会に加入する老人クラブが減少する状況にあることから、支援の在り方については検証が必要との意見がありました。また、全般的なこととして、執行率の低い事業について委員より当局にその理由についての質問がありました。当局の説明から、いずれの事業についても年度内に完了できない状況が生じたために、翌年度に事業を繰越する明許繰越をされているなどの事由を確認できました。また、住民要望や地域課題に対しては、かなりの数がある中で、できる限り応えてもらいたいところでありますが、そのために財政的な面や人員的な面での課題などあるかどうか当局に確認し、議員としても協力できることはしたいとの意見がありました。

なお、当局に対して、各委員からの指摘や意見については、今後の予算編成および予算執行において十分配慮いただく旨を要望いたしました。

予算常任委員会審査報告

委員長　小川　広司

予算常任委員会は令和2年11月26日に委員会を開催し、「議第131号令和2年度近江八幡市一般会計補正予算（第8号）」を審査しました。この補正予算の主な内容は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う市民生活支援と市内中小企業等の支援のため実施していますじもと応援クーポン券事業で市民に対するクーポン券を追加で1人当たり3，000円分配布するものです。総額2億8，263万5，000円を追加するものです。採決の結果、全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。

次に、12月10日および11日に委員会を開催し、「議第132号令和2年度近江八幡市一般会計補正予算（第9号）」を審査しました。この補正予算の主な内容は、マイナンバーカードの交付枚数増加に対して円滑な体制を確立するための費用や、新町1丁目無電柱化事業に対する電線管理者が行う設計費の補助、新型コロナウイルス対策の市独自施策として近江牛の肥育素牛および繁殖素牛導入支援を拡充するための補助、新型コロナウイルス対策の国事業として各小中学校における感染防止対策経費の追加配分などであります。総額1億8，621万4，000円を増額するものです。採決の結果、全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。

また、12月18日に追加上程されました「議第158号令和2年度近江八幡市一般会計補正予算（第10号）」を、同日委員会を開催し審査しました。この補正予算の内容は、新型コロナウイルス感染症対策の国の施策として実施されましたひとり親世帯への臨時特別給付金につきまして、国が追加で支給することを決定したためのもので、支給額は1世帯当たり5万円、第2子以降1人につき3万円となります。総額1，737万9，000円を増額するものです。採決の結果、全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。

総務常任委員会審査報告

委員長　平井　俊治

総務常任委員会は、12月定例会で付託された諸案件を審査するため、令和2年11月26日および12月14日に委員会を開催し、当局に対し詳細な説明を求め、議案質疑等を行い審査しました。

○11月26日（4件）

市職員をはじめとする給与関係条例改正議案の4件について、慎重な審査を行い、3議案については賛成多数で、1議案については全員賛成でそれぞれ原案を可決すべきものと決しました。

なお、審査過程において、コロナ禍の状況下での一般職等の期末手当の削減は、該当職員の収入減になり経済が縮小傾向につながるため、歯止めも必要でないか。一方で議員、特別職についての勧告は容認できるなどの意見がありました。

○12月14日（7件）

予算関連議案1件、条例関連議案2件、その他議案2件の計5件と請願2件について、慎重な審査を行い、予算関連議案1件、条例関連議案2件、その他議案2件の計5件については全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。また、請願の2件については賛成少数で原案を不採択すべきものと決しました。

なお、病院事業会計の審査過程において、新型コロナウイルスの感染拡大が進む中、日々、医療の最前線で治療に尽力されている医療従事者の皆さまに対し感謝が述べられ、コロナ病棟の受け入れ態勢について質疑がありました。

教育厚生常任委員会審査報告

委員長　岩崎　和也

教育厚生常任委員会を令和2年12月15日に開催し、予算関連議案4件、条例関連議案5件について当局に説明を求め、慎重に審査した結果、予算関連議案については4件全て、条例関連議案については、そのうち2件（議第145号・議第148号）は全員賛成で、スポーツ施設使用料の改定に係る3件（議第140号・議第146号・議第149号）は、賛成多数で原案を可決すべきものと決しました。

なお、審査過程の中で、市内のスポーツ施設使用料の改定について、土日料金が平日料金の1.5倍となるなど、値上げとなる部分があることから、利用者の意見をよく聞いたうえで再度、検討が必要との意見がありました。

産業建設常任委員会審査報告

委員長　井上　芳夫

産業建設常任委員会は令和2年11月26日に委員会を開催し、付託された意見書1件について、賛成多数で原案を可決すべきものと決しました。この意見書は、防災・減災・国土強靱化対策を推進するため令和3年度以降も引き続き必要な措置が講じられるように国に求める内容です。

次に、12月16日に委員会を開催し、付託された予算関連議案2件、条例関連議案1件、その他議案4件、請願1件について、当局等に説明を求め、慎重に審査した結果、全ての議案について全員賛成で原案を可決・採択すべきものと決しました。

今回審議した主な議案の内容は、議第152号については、現在施工中の健康ふれあい公園サッカー場整備工事において地盤改良が必要となったことから請負契約の変更のためのものです。また、請願第3号については、気候変動の原因となっている諸課題の解決に向けて、市・団体・個人が一丸となってできることから積極的に取り組んでいけるよう「気候非常事態宣言」および気候変動に対する取組の推進・普及を求める請願です。

また、12月18日に委員会を開催し、付託されたその他議案1件について、全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。この議案は、健康ふれあい公園グラウンドゴルフ場、児童遊戯場などの整備工事について入札が終わったことから、議決を求めるためのものです。

田中好議員　逝去

田中好議員が令和2年10月24日に、ご逝去されました。田中議員は、平成19年4月に初当選以降、約14年間、市議会議員として市政の発展にご尽力されました。その間、議長、副議長、監査委員などの要職を歴任されました。謹んでお悔やみ申しあげます。

《議場での議長からの哀悼の言葉（抜粋）》

本日、令和2年第4回定例会の開会日でございます。22番の議席にありし日のお姿はなく、当局をはじめ議員一同、惜別の情を禁じ得ないところでございます。田中議員は、その卓越した識見と強い指導力により、他の議員を牽引し、円滑な議会運営にその手腕を遺憾なく発揮するとともに、時には行政のよきパートナーとして、時には行政の厳しい監視役として市民福祉の向上にご尽力されました。また、その誠実さから、市民の皆さまはもとより、議員、当局の職員からの人望も非常に厚く、常に本市発展のために尽くされていました。私たちはそのご遺志を教訓にして、近江八幡市の発展のため、全力で傾注することをお約束申しあげ、追悼の言葉といたします。

総務常任委員会市連合自治会と意見交換会

令和2年12月1日に市連合自治会との意見交換会を文化会館会議室で行いました。市内10学区の自治連合会長10名が参加され、多様化する地域課題を共有するため現場の意見を聴きました。自治連合会長の皆さんからは、高齢者の個人情報の取り扱いや自治会加入の促進、地域防災への取組など多数の意見が寄せられ、学区独自の取組事例や地域活動を進めていくための工夫など当委員会委員と活発な意見交換を行いました。ご意見は全議員で共有し議員活動に活かしていくとともに市の担当部局に伝えていきます。

教育厚生常任委員会　子ども医療費で申し入れ

令和2年11月18日、教育厚生常任委員会は子ども医療費助成に対する国県制度の拡充を求めることについて市長に申し入れを行いました。

子ども医療費無償化に関して、現行は就学前までが県制度、それ以降中学卒業までは市の事業として実施しています。少子化問題は本市だけではなく、わが国全体が直面している大きな課題であり、加速化する少子化への対策は、本来国全体で取り組むべき喫緊の課題であり、全ての子どもが無償で医療を受けることができる環境の整備は、子育て世代がどこでも安心して子どもを産み育てることができる子育て支援施策として有効であるため、子ども医療費の無償化が国および県制度で創設されるよう市長から国県へ要望活動を行っていただきたいことを申し入れたものです。

産業建設常任委員会　勉強会および現地視察

産業建設常任委員会で、所管する事項についての現下の動向を理解するため、今年度閉会中に3回の勉強会を開催いたしました。

第1回目の令和2年8月24日は都市計画制度について、第2回目の10月8日は畜産および集落営農について、第3回目の令和3年1月12日は下水道経営戦略について、それぞれ所管する市部局の担当者を講師として招き、理解を深めました。また、第2回目においては、勉強会に引き続き現地視察を行い、大中町の『繁殖一貫生産牧場山形牧場』さまおよび安土町西老蘇の『農事組合法人ファームにしおいそ』さまを訪問し、実情についてお尋ねしました。前者では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて近江牛の消費・販売が伸び悩む中、近江牛のブランドを維持しながら飼育を続けている牧場経営がたいへん厳しいものである状況を実感しました。後者では、グローバルGAPを認証取得されるなど先進的な取組をされて、経営維持に向けての意識高揚をされていることを学びました。

▶【議会報告会on Youtube】を開催します

市議会では、議会改革の一環として、市民のみなさまに開かれた議会となることを目指し、近江八幡市議会基本条例に基づいて議会報告会を毎年開催していますが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、インターネット上の動画配信サイト『Youtube』での配信を実施します。ぜひご覧ください。

配信日：令和３年２月16日（火）配信開始

内　容：今回は市内各中学校の生徒からご意見やご質問をいただきお答えします。

検　索：『Youtubeチャンネル近江八幡市議会』で検索してください。

QR®コード

令和２年第４回（12月）近江八幡市議会定例会に提出された議案と議決結果

賛否の分かれた議案

議案番号	件名	付託委員会	会派	創政会								政翔会			①			②		③		④	⑤	⑥	⑦	⑧
			議決結果	南祐輔	大川恒彦	井上芳夫	岡山かよ子	岡田彦士	小西励	片岡信博	北川誠次	沖茂樹	辻正隆	小川広司	森原陽子	玉木弘子	檜山秋彦	岩崎和也	山本妙子	道下直樹	平井俊治	冨士谷英正	西津善樹	竹尾耕児	山本英夫	山元聡子
12月市議会定例会																										
◇　条　　例																										
議第140号	近江八幡市岡山社会体育施設条例の制定について	教厚	可決	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第141号	近江八幡市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務	可決	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第143号	近江八幡市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務	可決	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第144号	近江八幡市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務	可決	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第146号	近江八幡市民アリーナ条例等の一部を改正する条例の制定について	教厚	可決	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第149号	近江八幡市都市公園のうち有料施設の属する都市公園の管理及び運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	教厚	可決	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◇　議員提出議案（意見書）																										
会第12号	防災・減災・国土強靱化対策の継続・拡充を求める意見書の提出について	産建	可決	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◇　請　　願																										
請願第1号	日本政府に核兵器禁止条約に参加・調印・批准を求める意見書の提出を求める請願	総務	不採択	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×
請願第2号	日米地位協定の見直し・改定を求める意見書の提出を求める請願	総務	不採択	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×

○…賛成　×…反対　欠…欠席　退…退席　除…除斥　―…議長は採決に加わっていません。

①：日本共産党　②：公明党　③：新政会　④：公政会　⑤：志誠会　⑥：チームはちまん　⑦：ひむれクラブ　⑧：凛成会

全員一致で可決・認定・同意・採択した議案

議案番号	件　　名	付託委員会
12月市議会定例会		
◇　決　　算		
議第100号	平成31（令和元）年度近江八幡市一般会計決算の認定を求めることについて	決算
◇　予　　算		
議第131号	令和２年度近江八幡市一般会計補正予算（第８号）	予算
議第132号	令和２年度近江八幡市一般会計補正予算（第９号）	予算
議第133号	令和２年度近江八幡市国民健康保険特別会計補正予算（第３号）	教厚
議第134号	令和２年度近江八幡市介護保険事業特別会計（保険事業勘定）補正予算（第２号）	教厚
議第135号	令和２年度近江八幡市介護保険事業特別会計（サービス事業勘定）補正予算（第１号）	教厚
議第136号	令和２年度近江八幡市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	教厚
議第137号	令和２年度近江八幡市水道事業会計補正予算（第１号）	産建
議第138号	令和２年度近江八幡市下水道事業会計補正予算（第１号）	産建
議第139号	令和２年度近江八幡市病院事業会計補正予算（第３号）	総務
議第158号	令和２年度近江八幡市一般会計補正予算（第10号）	予算
◇　条　　例		
議第142号	近江八幡市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	総務
議第145号	近江八幡市立幼稚園条例の一部を改正する条例の制定について	教厚
議第147号	近江八幡市特別史跡安土城跡ガイダンス施設条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第148号	近江八幡市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	教厚
議第150号	地方自治法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	総務
議第151号	近江八幡市及び東近江市における大中の湖地区基幹水利施設管理事業事務委託の変更に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	産建
◇　人　　事		
議第160号	円山財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて	省略
議第161号	牧財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて	省略
◇　そ　の　他		
議第152号	健康ふれあい公園サッカー場整備工事請負契約の変更につき議決を求めることについて	産建
議第153号	公の施設の指定管理者の指定につき議決を求めることについて	産建
議第154号	公の施設の指定管理者の指定につき議決を求めることについて	総務
議第155号	公の施設の指定管理者の指定につき議決を求めることについて	総務
議第156号	近江八幡市及び東近江市における大中の湖地区基幹水利施設管理事業事務委託の廃止に関する協議につき議決を求めることについて	産建
議第157号	東近江市及び近江八幡市における大中の湖地区基幹水利施設管理事業事務委託に関する協議につき議決を求めることについて	産建
議第159号	健康ふれあい公園グラウンドゴルフ場他整備工事請負契約の締結につき議決を求めることについて	産建
◇　議員提出議案（意見書ほか）		
会第13号	すべての医療機関、介護・障がい等の事業所への緊急財政支援を求める意見書の提出について	省略
会第14号	地方自治法第１８０条議会の委任による専決処分事項の指定についての一部を改正することについて	省略
◇　請　　願		
請願第3号	気候非常事態宣言及び気候変動に対する取り組みを推進する請願	産建

付託委員会欄の「予算」は予算常任委員会、「総務」は総務常任委員会、「教厚」は教育厚生常任委員会、「産建」は産業建設常任委員会です。「決算」は決算特別委員会です。

３月定例会のご案内　令和３年第１回（３月）市議会定例会は、次のような日程で予定しています。それ以外の日は、休会の予定です。

開会日	質問日	委員会	閉会日
２月17日（水）	２月25日（木）、26日（金） ３月８日（月）～10日（水）	３月11日（木）、12日（金）、 15日（月）、16日（火）、18日（木）、 19日（金）、22日（月）	３月24日（水）

皆さまからの議会運営に関するご意見を、メールまたは文書にて、議会事務局までお寄せください。
〒523－8501　近江八幡市桜宮町236番地　Eメール：020200@city.omihachiman.lg.jp　FAX：0748－36－7101

●インキ：環境配慮型インキ（植物油インキ or ノンVOCインキ）
●印刷：有害な廃液を排出しない水なし印刷